

「保原高校における読書活動推進へ向けた取組」

1 学校の概要

- ① 所在地 福島県伊達市保原町字元木 2 3
- ② 学級数・生徒数（令和4年5月1日現在） 全日 14学級 333名
- ③ 学校図書館の蔵書数（令和4年5月1日現在） 33,229冊

2 読書活動推進へ向けた取組

- ① 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

- ・校内文化祭における図書委員会の展示

「図書委員おすすめ本」のPOPと本を展示するとともに、令和4年度で百周年を迎えた本校の周年記念誌や自校出版物などの貴重資料を展示し、読書意欲の喚起をはかるとともに、自校の歴史や卒業生の活躍等について理解を深めることが出来た。期間中、自校出版物に熱心に見入る来場者が多くみられた。



<校内文化祭展示の様子>



<本校所蔵貴重資料展示>

- ・ライブラリーカフェの開催（図書委員会主催 平日放課後）

普段図書館に来ない生徒の来館を促すため、夏休み前と冬休み前の2回、図書館内にBGMを流し、飲み物を提供。くつろいだ雰囲気でも本や雑誌を読めるよう図書委員会で準備した。この行事は令和2年度より継続的に開催しているため、毎回多くの生徒が訪れ、読書の時間を楽しんでいる。



・図書委員会夏季研修の実施

夏季休業中に図書委員希望者を対象とし、県内で先進的な取り組みを続け、市民の利用も多い郡山市中央図書館の見学と、大型書店での選書実習（生徒が図書館に入れるための本を予算内で選定する）を実施。参加した生徒は、一般利用者が入れないバックヤードの見学等をとおり、図書館の意義や活動について理解を深め、図書委員としての資質の向上をはかることができた。



<郡山市中央図書館見学>

② 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

・朝の読書（1・2・3学年 朝自習の時間）

* 図書館よりクラスへ約20冊ずつ本を貸出。前期と後期で内容を入替。

③ 読書活動の質の向上へ向けた取組

・「読みきかせ&朗読会」（1学年対象）と「読みきかせワークショップ」の開催

1学年のLHRの時間に外部講師（NPO法人夢ネットワークスタッフ 伊達市保原町）を招き、生演奏を交えた読みきかせ&朗読会を実施した。

また、放課後には保育士や図書館司書を志望する生徒、読みきかせに興味のある生徒（希望者）を対象とし、絵本の「読みきかせワークショップ」を開催。同じくNPO法人夢ネットワークスタッフ様に講義いただくとともに実践も行った。（新型コロナウイルス感染症対策とし、消毒・換気を徹底し人数制限を設け実施）

読みきかせについては、幼少期以来という生徒が多く、高校生になって改めて聞くと懐かしさと新しい発見があり、幼いころのあたたかな記憶とともに、再度本を読みたくなったという感想が多くあった。

ワークショップでは、読みきかせを行う際の注意点やその意義について、分かりやすく説明いただき、保育や絵本に興味を持つ生徒達に有意義な時間だった。



<読みきかせ&朗読会>



<ワークショップ>

④ その他、読書活動推進へ向けた取組

- ・小論文用推薦図書リストの作成

本校所蔵の小論文対策となる書籍をテーマごとにリスト化し、3学年各クラスと進路指導部、教職員に配付。生徒の小論文対策用図書選定の参考資料とした。